

美里町

観光ガイドマップ

特産ブルーベリー



美里町観光協会
ホームページ



美里町観光協会
Instagram

JR八高線・陣見山

公園・施設

緑あふれるこのまちで、
思いっきり遊べば、
カラダに元気が満ちてくる。



遺跡の森総合公園 D-3
遺跡の森総合公園は、健康・文化の核として整備された公園です。園内には、遺跡の森館や多目的グラウンド、テニスコート、コミュニティセンターなど、たくさんの施設が集まっています。



テニスコート



多目的グラウンド



ターゲットバードゴルフ



美里町駅前情報館 C-3

JR八高線松久駅前の情報館。町の観光情報の発信地となっています。観光ポスターや町内マップが掲示しており、美里町の見どころがよくわかります。



ミムリンパーク B-3

子どもの興味を引く明るい色彩の遊具がある普段使いの気軽な公園です。公園の周辺が柵で囲まれ、幼児が安心して遊べる空間となっています。



ウォーキングロード B-2

爽やかな風を頬にうけながら、ウォーキングやサイクリングで気持ちの良い汗を流してみませんか。町内ではウォーキングロードが整備され、多くの方に利用されています。

特産

旬を味わうおいしい体験を
美里町でしませんか。

ブルーベリー

6月上旬～8月下旬

国内最大規模の植栽面積を誇るブルーベリーのまち 美里町。植栽品種が多いため、色々な甘味・酸味を楽しむことができます。町内には観光農園が点在し、多くの観光客でにぎわっています。

【効用】
アントシアニン色素を含み、眼精疲労減少や視力向上に役立つとされ、「目によい」フルーツといわれています。



ブルーベリー情報

いちご
12月～4月

「あまりん」は、県内の指定農家でしか栽培されていない埼玉県オリジナル品種です。プレミアムないちごをぜひご堪能ください。

旬の時期を
Check!



エゴマ情報



エゴマ油

エゴマ

10月中旬～11月下旬

シソ科の植物であるエゴマは特有の香りがあるため、イノシシやエゾジカの被害を受けにくいとされており、町内各地で栽培されています。円良田特産センターでは、エゴマを搾油し販売しています。

【効用】
エゴマの実に含まれるαリノレン酸には、認知症予防や血管の若返り効果が期待されています。

JA 美里万葉の里直売所 E-3



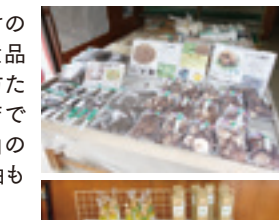
地元農家が生産した採れたて野菜や果物を販売しています。6月上旬から8月下旬には、青紫の真珠のような美里のブルーベリーが棚一面に並びます。

住 所 美里町大字猪俣 2321-1
営業時間 9:00～17:00
休 業 日 第2火曜日、
12/31～1/4
T E L 0495-76-2104

つぶらた
円良田特産センター E-2



あんず、エゴマ、しいたけ、たけのこなど円良田地区の様々な特産品を販売しており、元気な地元の方たちが活躍中の地域密着型のお店です。搾油機を導入し、エゴマ油の販売を行っているほか、委託搾油も行っています。



住 所 美里町大字円良田508
営業時間 9:00～15:00
休 業 日 毎週月・金曜日、年末年始
T E L 0495-76-3710

祭・伝統

先人達から受け継がれた時間
思いを馳せて。

国指定重要無形民俗文化財
いのまた ひやくほつとう
猪俣の百八燈 E-3

猪俣地区は、武將 猪俣小平六範綱ゆかりの地です。「猪俣の百八燈」は毎年8月15日に行われる盆祭りの行事で、小平六とその一族の霊を慰めるためと伝えられており、安土桃山時代から400年以上続いています。行事は準備を含め、地元の青少年がすべてを取りしきり、大人の介入がないのが特色です。高台院にて、猪俣氏の霊に拝礼後、笛・太鼓の拍子に合わせた「提灯行列」が塚のある堂前山へと向かい、108の塚に火を灯します。当日高台院から、提灯行列に参加でき、子どもたちが塚に火を灯すところを間近で見学できます。



提灯行列



B-4

町指定無形民俗文化財
関の獅子舞

10月中旬に児玉神社の秋季大祭に奉納される獅子舞です。今から約300年前の享保年間（江戸時代）に、相模の国の人がこの地に来て教えたのがはじまりと伝えられています。

C-2

町指定有形文化財
ひろき やたいばやし
広木の屋台囃子

7月下旬に広木地区の八坂の祭礼に合わせて行われる広木屋台囃子。地元の若者たちが中心で、この屋台に乗り、移動しながら笛と太鼓など音を奏でながら囃子をします。

C-3

県指定無形民俗文化財
こまぎぬ いせきふんど
駒衣の伊勢音頭

7月下旬に駒衣地区の稲荷神社で行われています。今から300～400年前に、この地の村人が伊勢参りに際し習い覚えてきたのがはじまりと言われています。

C-3

こまぎぬ やたいばやし
駒衣の屋台囃子

伊勢音頭と同日、駒衣稲荷神社の神楽殿で行われる祭り囃子です。五穀豊穡を祈願して地元の子どもたちが力強く小太鼓などの楽器を演奏し、祭りを盛り上げています。

歴史・文化財

はるか万葉の
彼方から、歴史の
足音が聞こえてくる。

出土品は遺跡の森館
に展示してあるよ



すいでんかわらかまもと
水殿瓦窯跡 B-2 国指定文化財



鎌倉時代の瓦窯跡で、調査により4基が確認されています。ここから出土した瓦は文治5年（1189）に源頼朝が建立した鎌倉市二階堂永福寺跡から発見された瓦と似ており、この瓦窯跡で焼かれた屋根瓦が永福寺の大改修の際に使用されたと考えられています。

しろいしこふんぐんくぼちく
白石古墳群久保地区 第2号墳馬形埴輪



D-2 町指定文化財

久保2号墳の石室は無袖短冊型横穴式石室で、直刀や馬形埴輪などが多数見つかりました。馬形埴輪の鞍部は、左側に足をかける輪鏝、右側に水平板が表現されており、古墳時代の騎乗方法を知るうえで貴重な資料です。



国指定文化財
がとう がどう
瓦塔・瓦堂 D-3

甘粕地区の東山遺跡から発見された小型の塔と堂です。粘土を焼いてつくったこれら土製品は平安時代の作といわれ、寺院の五重塔や金堂に似せてつくられています。これは寺院を建てる代わりにつくられたもので、信仰の対象として大切に建物の中に置かれていたと考えられています。

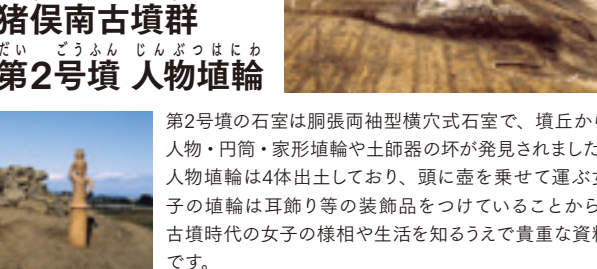


県指定文化財

B-3
じゅうじょうじょうりいせき
十条桑里遺跡

大化の改新の制により実施された班田収授法の遺跡。十条の名は、南より第十条にあたることから、現在その碑が残っています。

E-3 町指定文化財
いのまたみなるこふんぐん
猪俣南古墳群 第2号墳 人物埴輪



第2号墳の石室は胴張両袖型横穴式石室で、埴輪から人物・円筒・家形埴輪や土師器の坏が発見されました。人物埴輪は4体出土しており、頭に杵を乗せて運ぶ女性の埴輪は耳飾り等の装飾品をつけていることから、古墳時代の女子の様相や生活を知るうえで貴重な資料です。

E-3 県指定文化財
いのまたこへいるく はか
猪俣小平六の墓

小平六は小野篁の子孫で、武蔵七党のひとつ猪俣党として勇名を馳せました。源義朝に従い軍功を立て、義朝十七騎の一人として知られ、また、源頼朝に仕え、しばしば功績をあげました。建久3年（1192）に死去し、墓は一族と共に高台院にあります。

県指定文化財
こがたほうとう こがたまかいふんぐん
小型宝塔・小型未開敷蓮華 C-2

高さ4センチ前後の極めて精巧に作られた金属製小型宝塔と小型持蓮華。広木の土着遺跡から金、銀、銅、鉄、金銅と異なる材質のものがセットで出土しています。

D-2 県指定文化財
まんよういせき
万葉遺跡

当時から絶えず流れる泉水があり、その水で衣を打ち、布や糸をさらしたことから名づけられました。万葉集巻九の「三葉の中に向へる曝井の絶えず通はんそに妻も」は、広木地区のさらし井と縁をたどるものといわれており、炊事洗濯に集まる婦人たちの共同作業場であったと考えられています。

D-2 県指定文化財
まんよういせき
万葉遺跡

豪族であった給前舎人石前は広木地区に居住していたとされ、この場所が屋敷跡といわれています。真足女は石前の妻で、防人に赴くことになった夫に惜別の情を詠んだ歌が、万葉集の巻二十に「枕太刀離に取り佩きまかなしき背ろがまき来む月のしらなく（寝る時も、いつも身辺から離さないで、枕許にいていた、あの大切な刀をつけて、私の夫が帰ってくるのは、いつのことかわからない。）」と載せられています。

※古墳群等遺跡の範囲・詳細については、美里町教育委員会事務局 生涯学習課
(コミュニティセンター 76-3431)にお問い合わせ下さい。